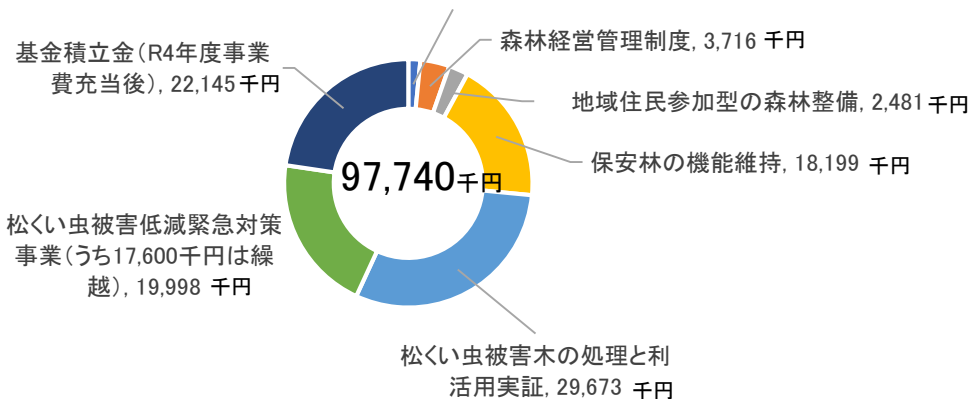


- ▶ 新潟市では、森林環境譲与税を活用し、令和元年度から森林経営管理制度に基づく意向調査等を進めており、令和4年度までに西蒲区の7地区で森林所有者への意向調査を行いました。
- ▶ 令和5年度においては、西蒲区で3地区、秋葉区でも1地区を選定し、意向調査を進めて行くこととしています。

令和4年度森林環境譲与税の使途

林地台帳システム(森林GIS)の運用, 1,528 千円



基礎データ

| | |
|---------------|----------|
| ①令和4年度譲与額 | 97,740千円 |
| ②私有林人工林面積(※1) | 2,353ha |
| ③林野率(※1) | 7.5% |
| ④人口(※2) | 789,275人 |
| ⑤林業就業者数(※2) | 54人 |

※1:農林水産省「2020年農林業センサス」より

※2:総務省「令和2年国勢調査」より

事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

- 市内の私有林人工林2,353haのうち、157ha分の森林所有者に対し、今後の森林経営管理の意向調査を実施。

【対象者】512名

【実績】回答者 253名(84ha)



(事業1:意向調査説明会)

2 間伐促進に向けた説明会の開催

- 令和3年度の意向調査で新潟市へ森林管理を委託したいと回答した方を対象に、説明会を開催。

【対象者】106名

【実績】参加者 33名

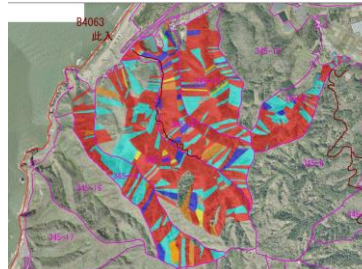


(事業2:間伐促進に向けた説明会)

3 地域住民参加型の森林整備

- 森林整備ボランティア団体等の活動を支援し、森林環境の保全を図った。

【実績】補助金交付7件



(事業2:回答結果図)

4 保安林の機能維持

- 海岸保安林の松くい虫調査や植栽、啓発イベントを行い、森林環境の保全を図った。



(事業4:植栽後の様子)



(事業3:安全講習会)

・本市は58.6kmに及ぶ長い海岸線に沿って帯状に1,086haに及ぶ保安林を有します。その約63%は飛砂防備保安林となっており、内陸側にある市街地や田畑を季節風による風潮害から守る重要な役割を果たしていますが、近年、一部の地域において松くい虫による被害が拡大し、伐倒駆除後の残材が森林景観を損ねるなど問題となっていました。

・令和4年度は森林環境譲与税を活用し、中央区西海岸公園内の景観の改善と安全性の確保(障害物の除去)を図るため、松くい虫被害木の処理と利活用実証事業を実施しました。

- ① 松くい虫の被害を受け、駆除対策を行った後の残材のチップ化処理 291m³
- ② 公園の園路へウッドチップ舗装の資材として再利用
- ③ 植栽後の水分保持及び抑草対策のため、ウッドチップの敷き均しを実施

● 伐倒くん蒸後の残材の状況



① くん蒸処理後の伐倒木をウッドチップ化



② ウッドチップ舗装



③ ウッドチップ敷き均し